

会 報 《第475号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和7年10月1日

目 次

I 第533回月例会

「 音楽の扉～ヴァイオリン×マカフェリギター 10Strings～」

ヴァイオリン

土井 美佳 氏

マカフェリギター

伊藤 淳介 氏

・・・2～5頁

II 会員寄稿

「 大阪・関西万博を視て思う（続編） 」

株式会社 宮本設計 顧問 川端 宏幸 氏

・・・6～9頁

III 令和7年度第3回理事会の開催

・・・10頁

IV 大阪・関西万国博覧会視察会の開催

・・・10頁

V お知らせ 行事予定

・・・10頁

IV 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度

・・・11頁



I 第533回月例会

「音楽の扉～ヴァイオリン×マカフェリギター 10String～」

ヴァイオリン

土井 美佳 氏

マカフェリギター

伊藤 淳介 氏

【会 長 挨 拶】



皆さんこんにちは。

本日はご多忙の中、第533回月例会に出席して頂き有難うございます。

6月後半の梅雨明け以降、7月、8月、そして9月に入っても暑い日が続いていましたが昨日、いきなり台風15号が発生しました。今日にも九州に接近し西日本から東日本は警報級の大雨の恐れとなりました。

お気をつけてお過ごしください。台風が過ぎると、また、夏に戻ったような気候になると予報されていますがどうかお身体を大切に秋が訪れるのを心待ちにしましょう。

さて、7月の月例会以降、7月28日に事業推進委員会を開催しました。当日は神戸市建築住宅局の光平副局長様をお迎えし、神戸市における木材利用について講演して頂き、その後は中華料理を楽しみながら英気を養いました。

また、本日の月例会終了後に理事会を開催し、下期事業を協議します。盛り沢山の事業を考えていますので、それぞれの事業に奮ってのご参加をお待ちしております。

そして、本日は久々に音楽とトークを楽しむ月例会です。令和2年10月にチェロ奏者の植木美帆氏の演奏会を楽しみました。

今回は土井美佳様のヴァイオリンと伊藤淳介様のマカフェリギター10弦のミニコンサートをお楽しみ頂きたいと思います。

クラシックからポピュラーまで、いろんなジャンルの音楽を、ヴァイオリンとギターとのちょっと珍しい組み合わせでお届けします。演奏して頂ける曲だけでも、まるで音楽の旅をしているような豊かな気持ちになるのではと思います。

演奏者もワクワクしながら準備して来られましたので、ぜひリラックスして、音楽の扉を開けて音楽の世界に浸ってください。

それでは、午後のひとときを一緒に音楽を楽しみましょう。



【演奏及び講演】



- ♪ 1曲目 シャンソン パリの空の下 ♪
♪ 2曲目 チェックコリア スペイン ♪

《土井美佳氏》

本日はお招きいただき光栄に思っております。今からはヴァイオリンとマカフェリギターという、どちらも弦楽器でそのデュオはすごくめずらしいと思います。

私はクラシック奏者ですし、彼はジプシージャズ奏者ということで、ジャンルを超えたお話と演奏させていただきます。

1曲目はシャンソンから「パリの空の下」という曲でした。2曲目はチックコリアの「スペイン」を演奏いたしました。

《伊藤淳介氏》

いきなりフランスからスペインに旅行をしていただいた感じです。

《土井美佳氏》

私の祖父が趣味でヴァイオリンをしており、日曜日になるとオーケストラの練習に出かけていくというような人でした。祖父は、私の母にヴァイオリンをやってほしいと思っていたみたいですが、孫の私の方に回ってきた次第です。

小さい頃からヴァイオリンに触れる機会が多くて4歳か5歳ぐらいがスタートでした。そして、ピアノもやっていましたが、神戸の山手の音楽科へ進みまして、ヴァイオリンの道を進むことになりました。

《伊藤淳介氏》

僕は、小学校の頃に母親と母親の妹がピアノ先生をされていて、母親が自分で教えるのが嫌だから妹のところに習いに行きなさいということで、ずっと嫌々ながらピアノをしていました。

中学校の入学式初日に肩の骨を折り、手術したところ病院で1年ぐらいは運動できないと言われ、サッカーを諦めました。その頃から音楽をよく聞くようになり、そこから楽器に興味が出て、高校に入ってから部活の弦楽部でバンドを組み、最初はボーカルでしたが、すごく下手なので、1時間位チューニングなどをしていました。

その時、暇なので自分もギターを始め、のめり込んでいったという感じです。

《土井美佳氏》

このマカフェリギターは皆さんがご存じの楽器と形状が違っても見えますが、高校生の頃からマカフェリギターを弾いていたのですか。

《伊藤淳介氏》

その頃はロックバンドのエレキギターです。29歳位からこのスタイルの音楽を演奏するようになりました。

《土井美佳氏》

それでは、次に演奏です。1曲目はクラシックからバッハ作曲の「G線上のアリア」を、そして、ジプシージャズの中から1曲「ヴァンデスト」を演奏します。

- ♪ 3曲目 バッハ G線上のアリア ♪
♪ 4曲目 ジプシージャズ ヴァンデスト ♪



《土井美佳氏》

本日の月例会の副題「10Strings」ですが、これは「十の弦」と書きます。ヴァイオリンが4本の弦で、ギターが6本です。合わせて10本ということで、ピアノとかですと88弦あるのですが、私たちは10本しか弦がなくて、その限られた音域、音幅でどんなふうに音楽をつくっていくかということ考えながら演奏しています。



《伊藤淳介氏》

音楽の道に進むようになったきっかけやどう勉強してこられましたか。

《土井美佳氏》

私は山手の音楽科に入り、現在もお世話になっている先生と出会い、今まで聞いたヴァイオリンの中で先生の音色にすごく衝撃を受け、ヴァイオリンに対する気持ちというのが変わり始めました。

先生から、高校2年生の時、フランスの講習会に行くことを勧められました。そこでは世界各国からヴァイオリンを勉強する人たちが集まっていましたが、参加している学生達のレベルの高さに大変衝撃的を受け、この会の間は部屋にこもってヴァイオリンをずっと弾いていた記憶があります。またそこで、知る人ぞ知るヴァイオリンの神様との出会いもありました。その方との関係で、大阪音大在学中も、奨学生としてロンドン行き、卒業後もロンドンに留学することになりました。

《伊藤淳介氏》

ロンドンの先生にはどういう感じで習っていましたか、学校とか行っていたのですか。

《土井美佳氏》

私は主に先生のご自宅に直接行ってレッスンに通い詰める生活をよくしていました。兵隊のようなヴァイオリン漬けの日々を送っていました。私は留学中に、一つ体感したということがあります。よく日本と海外で楽器の音が違うとかよく言われるのですが、私はロンドンに住んでいて、スコットランドへ旅行したことがあり、そのときもヴァイオリンを持って行っていきま

したが、ロンドンで弾くのとスコットランドで弾くのと全く違った音がしまして、すごく驚きました。

《伊藤淳介氏》

どっちがよかったのですか。

《土井美佳氏》

スコットランドです。

湿度が低かったかなと思うのですね。本来の楽器の音を聞いたような気がしました。

私の留学の一番の思い出は、日本にもう帰るとなった時に、先生から「ロンドンで、リサイタルでもして帰ったら」と言われて、先生ご夫妻、ホームステイの家族、それからロンドンの知り合い、日本からも母が駆け付け、いい体験と勉強になり思い出に残っています。

《伊藤淳介氏》

僕は、高校生のときにギターを始めて、その当時アメリカのバンドが圧倒的に人気があり、ロックギターをやるのならアメリカだと勝手に決めて、アメリカの音楽学校に行きたいと10代後半には思っていました。日本で就職しましたが、アメリカに行って勉強したいということで、仕事も辞め、アメリカの学校に入学いたしました。

22歳の時にアメリカに行きました。卒業してからもずっと居ついてしまい、8年間、向こうでロックバンドの活動していました。全然儲からなくて、バイトをしながら、音楽活動をずっと続けていまして、30歳になるちょっと前にこのギターに出会うのですが、そのころ日本に帰ってきてまして、ジプシージャズの活動を始めました。

《土井美佳氏》

フォークギターと何が違うのでしょうか。

初めてマカフェリギターの音を聞いたときに、よく聞くフォークギターより何かちょっと違った種類の音色がしたと感じました。

《伊藤淳介氏》

かわいい音がしますよね。

《土井美佳氏》

そうですね、ちょっとかわいい、そんな音がするなと思いました。

《伊藤淳介氏》

この楽器はジプシージャズというジャンルで

使われる楽器で、ほぼ他のジャンルには使われていません。

《土井美佳氏》

日本でもやっぱり数少ないですよ、待っていらっしゃる方もね。

《伊藤淳介氏》

ここ10年程でかなり増えてきて、手に入れるのが中々難しい楽器です。

《土井美佳氏》

この楽器もフランスからですね。

《伊藤淳介氏》

busato というその世界では有名な楽器で、それが楽器店に置いてあるという情報を得まして、4回5回ぐらいその楽器店へ行って、また来たのかと言われて、いくらなら買えるのかと店のご主人が言ってくれて、ようやく安く買いました。

《土井美佳氏》

次はまたちょっとジャンルを変えまして、タンゴの曲を1曲演奏したいと思います。ピアノのリベルタンゴ、チェロでもよく弾かれる曲で、「リベルタンゴ」をちょっとジプシー風に伴奏していただいて演奏したいと思います。

♪ 5曲目 ピアソラ リベルタンゴ ♪

《伊藤淳介氏》

最後のお話になりますが、楽器とは土井さんにとってどういう存在でしょうか。

《土井美佳氏》

喜怒哀楽、喜びや悲しみは勿論ですけど、孤独とか愛情とか全てのそういう心の中を言葉にはできないので言葉にならない思いを映し出すものと思っています。言葉にならない思いであるとか、心の叫びであるとか、それから祈りであるとかというのを1音1音に乗せて弾くことを心がけています。

《伊藤淳介氏》

僕は、楽器は女性というより男性、男同士でパートナーのような感じと思っています。特に、古い楽器とかこういう楽器というのは、これ1940年代の楽器ですけど、弾いているとここをもっとこう弾けとか、ここはいいよみたいな、指示をしてくるのですね。

《土井美佳氏》

何か楽器がちょっと教えてくれるような面があったりします。

最後の2曲を演奏しましてこの会を締めくくらせていただこうと思います。まず1曲目はフランスの第二の国歌と言っても過言ではない、昨年オリンピックでも歌われた愛の讃歌、それからクラシックになりますが、ジプシー情緒がふんだんに組み込まれている楽曲で、「チャルダッシュ」という曲です。

♪ 6曲目 モノー 愛の讃歌 ♪

♪ 7曲目 モンディ チャルダッシュ ♪

【副会長 閉会挨拶】



ヴァイオリンの土井さん、マカフェリギターの伊藤さん、本日は楽しい音楽、また美しい音楽をありがとうございました。私もヴァイオリンの艶やかな音色と、あとギターの優しい音がきちんとヴァイオリンをギターが支えているというのを非常に楽しく聞かせていただきました。また、ヴァイオリンがメロディーを弾きながら、ときにはギターがメロディーを弾きながら、というアレンジも非常に楽しかった。

お話の中にありましたように、ロンドンやアメリカに各々留学されたというので、若い頃にそれぞれ自分の夢を求めて海外に行かれたというのは、私が同じ年のことを思うととてもそんなことはできなかったの、すごいなと思いました。そのチャレンジ精神にも非常に感銘を受けました。お二人とも今後ますますご活躍されますこと願っております。本日はありがとうございました。

Ⅱ 会員寄稿

「 大阪・関西万博を見て思う(続編) 」

株式会社 宮本設計 顧問 川端 宏幸 氏



この会報が発行される 10 月には、大阪・関西万博も 13 日までの会期をわずかに残すことになります。

昨年 6 月の 461 号の会報で、海外パビリオンの建設の遅れや交通渋滞などインフラ整備の不足などのバッシングばかりが国会やマスコミで取りざたされていることを指摘しましたが、その後もメタンガス爆発の危険性や暑さ対策などネガティブな側面ばかりが報道されているように思われます。半面、万博本来の目的である半年間にわたり海外パビリオンを舞台に様々な国々の方と交流し、異文化の素晴らしさに触れる機会となったこと、地球環境、生命、食、テクノロジーなど先端の情報を得られることに言及する報道は少ないように思われます。

昨年の会報で、SF 作家の小松左京が 1970 年開催の大阪万博に向けて 1964 年に有識者で研究会を立ち上げ、万博の目的は「人類全体のよりよい明日を見出すこと、苦しみの少ない世界をつくること」と主張したことを紹介しました。

万博開会後の考察はさておき、まず、実際に視た万博のご紹介をさせていただきます。

兵庫県建築会の万博視察会に先立つ、8 月 6 日に孫らとともに夜間入場で見学してきました。

当日は、JR 桜島駅からシャトルバスを予約して、西ゲート北ターミナルまで行き、比較的スムーズに入場できました。幸い、お盆前の平日で入場者数は 10 万人余りと比較的少ない日に当たりました。しかしながら、帰路は同じくシャトルバスを利用しましたが、予約していなかったため、9 時を過ぎるとかなり時間を要しました。

9 月 16 日の当建築会の万博視察会は、予めチケットの手配からパビリオンの入場予約までいただき、三宮から往復バスで万博に行くことができる大変リーズナブルな企画となりました。

当日は、家族、事務局の方を含め、23 名で万博会場に向かいました。

一行は、西ゲート北ターミナルに到着後、2 時半頃に西ゲートから入場しました。西ゲートのエントランスには、万国旗がはためき、いやがおうでも万博の雰囲気が高まります。当日は、連日の猛暑の上、約 21 万人の入場者があり、大変混雑していました。



▶ 視察会 集合写真

西ゲート前ではミyakミyak像がお出迎え。その左には実物大ガンダムがそびえ立ちます。右には兵庫県になじみの深いパソナグループの「NATUREVERSE」とよしもとの「warai mirai 館」が並んでいます。

まずは、大屋根リングに上がって、万博会場全体を見渡します。今回の万博で目立つ構造は、「大屋根リング」を筆頭とする木造・木質パビリオンと、70 年万博でアメリカ館に使われた膜材のパビリオンです。両方とも解体しやすく、移築やリサイクルしやすいメリットがあります。西ゲートから反時計回りに行くと、レジオネラ菌の検出で一時間問題となったウォータープラザに到着しました。Null² などテーマ館が並ぶシグネチャーゾーンを背に、ちょうど噴水の水上ショーが行われていました。一行の中には、スペクタクルショーを見られた方もおられました。

もうしばらく歩を進めると、日本館などがあ



▶ ウォータープラザ 奥はシグネチャーゾーン

東ゲートゾーンに到着です。エレベーターで大屋根リングを降りて、今回の入場予約いただいていた三菱未来館に到着しました。パビリオンは、地上に浮かぶマザーシップのようで、地下から映像空間にいざなわれます。映像では、バーティカルシャトルが地球と火星を往復しながら、約 40 億年前の地球の深海での「命のはじまり」から陸での「命のひろがり」、さらに宇宙での「命の未来」を探ります。また、約 40 億年前には氷と土に覆われていた火星での生命探査から、地球の生命誕生のヒントが得られるというストーリーが展開されます。このような壮大な時間と空間の中で生命の未来を考えさせられました。



▶ 三菱未来館

ほかのパビリオンでは、バーラト(インド)館に行きました。古代より文化が栄え、いまも進

化し続けるバーラトの歴史や文化が展示され、悠久の時間の中で受け継がれてきた遺産と精神性が分かりやすく展示、映像などで紹介されていました。

食事は、パビリオンのレストランやテイクアウトは長蛇の列で時間がかかりそうでしたので、西ゲートゾーンのリングサイドマーケットプレイスでトルコ料理に舌鼓をうちました。

視察会の一行は、三菱未来館の入場以外は自由行動でしたが、20 時過ぎに集合し、予定より早く 21 時頃に三宮に到着しました。

視察会の報告は以上ですが、万博後のレガシーについて少し考察させていただきます。

70 年万博前に有識者で研究会を立ち上げた小松左京の大阪万博後の考察メモが今年 6 月に見つかりました。その中で、「万国博のあと利用」として、「あと地」「あと情報」「あと人間」「あと効果」をあげています。

「あと効果」としては、利便効果、シンボル効果に加え、「あと利用の体制はあるか」と記されています。

会場のシンボル「大屋根リング」については、開会のころから一部をレガシーとして残す案が協議されることになります。ひるがえって前回の万博跡地には「万博の森」と称される広大な公園が整備され、国立民俗博物館(民博)が開館しました。5 月 1 日の日経新聞「春秋」によると、民博設立の構想は、のちの日銀総裁、渋沢敬三が 1935 年に国に陳情するが実現せず、その後 40 年後に梅棹忠夫らが万博を機にその夢をかなえたとのことでした。

今回の「大屋根リング」に関しては、設計者の意図は分かりませんが、私にはヨーロッパ中世の環状都市が連想されます。テーマ館のあるシグネチャーゾーンを教会や市役所のあるマルクに例えれば、その周囲を各種パビリオが取り囲んでいます。ヨーロッパでは、近代になって外周の城壁は道路に転用されたり、その一部が「物見塔」などとして残されたりしています。

「大屋根リング」は、巨大な木造建築であるため、その維持管理費が懸念されており、本年 5 月に博覧会協会は大阪府、大阪市、経済界等

で構成される検討会を立ち上げて閉幕後のリングの活用方法を決定しようとしています。試算によると、北東部の 200m を「物見塔」として原型保存する場合には約 41 億円、下部を飲食店等が出店できる「建築物」として整備する場合は約 76 億円の改修費がかかる見通しです。さらに10年間の維持管理費として、いずれも約 16 億円が必要としています。



▶ 大屋根リングの夜景

9 月 16 日の検討会では、北東部 200m を原型に近い形での残し、リングとその周辺を大阪市が記念公園として整備することで合意されたとの報道がありました、北隣で 30 年開業に向けて建設が進むカジノを含む総合型リゾート (IR) 計画との整合や「いのち輝く未来都市のデザイン」という理念を継承するまちづくりなどの課題はありますが、私としては是非、環状の形態をレガシーとして残す計画を期待しています。

また、出店しているパビリオンの活用も徐々に明らかになりつつあります。パソナグループは自社パビリオン「NATUREVERSE」と海外パビリオンの「オランダ館」を淡路島に移設し、観光資源として活用する予定です。また、カルティエを展開するリシュモンジャパンなどが運営する「ウーマンズパビリオン」の部材は、27 年に横浜市で開催する国際園芸博物館のパビリオンに転用されることが決まっています。万博協会も出展者と引受先のマッチングサイト「万博サーキュラーマーケット ミヤク市！」を開設しています。

このように残されるパビリオン以外は解体されることになり、協会の試算によるとその廃棄

物は 76 万トン程度発生するとみられています。協会では廃棄物の約 98% のリサイクルを目標に掲げており、パナソニックホールディングスでは、「パビリオンを再び商品に活用する循環を実現する」ため、施設の柱や梁に使用している鋼材や幹線ケーブルの銅などの建設資材の 99% をスクラップとして回収した後に家電などの部品に再加工する予定です。もともとこうした金属はグループの手掛ける製品のリサイクル材だったとのことです。

小松のいう「あと情報」に関しては、9 月中旬に国内外のスタートアップとベンチャーキャピタルが一堂に会する国際会議が相次ぎ開かれています。万博で披露された技術・サービスを実用化につなげる環境を整備するねらいで、通産省とジェトロは、9 月中旬に会場内で「グローバル・スタートアップ・エキスポ」を開催します。次世代エネルギーの核融合発電や、IPS 心臓などの開発には多額の資金と時間がかかるとされています。そのため専門性の高い先端技術に特化してスタートアップ約 150 社が参加し、海外のベンチャーキャピタルから 100 人近くを招き、参加者は約 4 千人が見込まれています。

また、大阪・京都・神戸の三会議所では、万博に出展した地場中小・新興企業の先端技術を実用化する取組をはじめます。地元中小の技術力を世界にアピールする企画イベント「リボンチャレンジ」が催され、近鉄ホールディングスや NTT 西日本などの地元企業が支援パートナーとして参画し、協業先を探索しています。

建設業界にも今後の国際化に向けての課題が突き付けられました。海外パビリオンの建設を巡っては、下請け業者から未払いを訴える声が相次いでいます。参加国が自前で建設する「タイプ A」のセルビア館、ドイツ館において元請けの仏系イベント会社の日本法人に対し、下請け業者から設計変更などで発生した追加工事の代金を含む約 5 億 2 千万円の支払いを求めて地裁に提訴されました。海外では契約外の追加工事も先に契約を結ぶ例が多く、口頭で請け負い、後から支払いを求める日本の商習慣と大きく異なります。また、万博協会が建設を代行する「タイプ X」のアンゴラ館においても、元請け業者から内装工事を請け負った建設会社と労

働・人権問題をサポートする NPO から万博協会に長時間労働の問題と工事費の立替えを求める質問書が提出されました。ここでも建設業法関係法令を遵守する義務は元請け、下請けを含む事業者が負い、違法行為などが判明しない限り行政の介入は難しいとされています。今後、国、地方自治体発注の WTO 案件のみならず、民間発注の案件や、日本の建設企業が海外進出する場合の課題に対応していく必要があります。

さらに、小松のいう「あと人間」に関しては、万博を機会に人材を確保しようとする動きもあります。閉幕まで残りわずかとなり、会場で働くスタッフの獲得をめざす企業の動きが活発化しています。万博の業務に求められる同じようなスキルと親和性の高いホテルやレジャー産業だけではなく、製造・運輸業など幅広い企業が注目しています。製造業では原材料調達などで海外と交渉する機会も多く、語学に堪能なスタッフを求めています。運送業では顧客と関わる接客経験が豊富な人材を求めています。

また、正規のスタッフのみならず、ボランティアとして参加した人びとも有望な人材です。万博協会と大阪府・大阪市は、会場での案内・歓迎、主要駅や空港などの街なかで万博情報などの案内を行うボランティアを 2 万人募集したところ、約 2.8 倍の 5.6 万人の応募があり、増員して、会場ボランティア 14,000 人、大阪まちボランティア 16,000 人が登録されました。応募者の年代は、10 代、20 代の学生等と 50 代から 70 代のシニア層が多かったようです。特にシニア層はこれまでの知識・経験に加えて、相手目線での対応などを経験され、さらに社会活動に携わろうとされている方が多く、今後の高齢社会の中での有望な人材となることが期待されます。

大阪・関西万博は間もなく閉幕を迎えます。万博に当初計画から参画された人たち、万博に來られた方々はそれぞれ異なる体験をされ、感想もお持ちのことと思います。それぞれの経験・立場は異なっても、是非、共通のテーマ「いのち輝く未来都市のデザイン」のもとに体得された成果をレガシーとして、今後の人生設計、まちづくりに活かされることを望みます。

大阪・関西万博の概要

名 称：2025 年日本国際博覧会
(略称 大阪・関西万博)

会 期：2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日
(184 日間)

会 場：夢洲（大阪市此花区）

参加国等：158 か国・地域、7 国際機関

テ ー マ：いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ：いのちを救う
いのちに力を与える
いのちをつなぐ

コンセプト：未来社会の実験場

その他日本で開催された万博

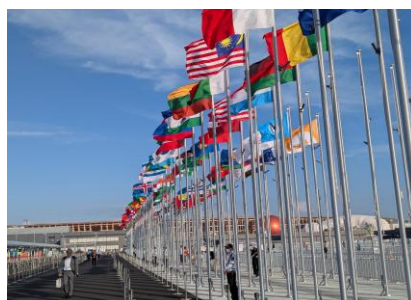
1970 年 日本国際博覧会【大阪府】
「人類の進歩と調和」

1975～76 年
沖縄国際海洋博覧会【沖縄県】
「海—その望ましい未来」

1985 年 国際科学技術博覧会【茨城県】
「人間・住居・環境と科学技術」

1990 年 国際花と緑の博覧会【大阪府】
「自然と人間との共生」

2005 年 日本国際博覧会（愛・地球博）
【愛知県】 「自然と叡知」



Ⅲ 令和7年度第3回理事会

令和7年度の第3回理事会が下記のとおり開催されました。

日 時：令和7年9月4日（水）
14:00～15:00
議 題：（1）令和7年度事業計画
（2）令和7年度予算執行状況
（3）役員の退任及び専任
（4）神戸市長選挙における推薦
（5）令和7年度会報編集予定
場 所：神戸三宮東急 REI ホテル
参集者：理事等 11名



Ⅳ 大阪・関西万国博覧会視察会

大阪・関西万国博覧会視察会が下記のとおり開催されました。

日 時：令和7年9月16日（火）
13:30～21:30

参集者：23名



Ⅴ お知らせ

◎行事予定

1 月例会

日 時：令和7年10月9日（木）
12:00～14:00
場 所：原田の森ギャラリー横尾忠則
現代美術館
内 容：「横尾忠則の世界」～企画展
「復活！横尾忠則の髑髏まつり」
講 師：横尾忠則現代美術館館長補佐
兼学芸課長 山本 淳二 氏

2 研修交流会

日 時：令和7年10月23日（木）
場 所：城山カントリー倶楽部

3 海外視察会

日 時：令和7年11月14日（金）～
11月22日（土）
視察先：ローマ及びシチリア

4 視察会

日 時：令和7年12月9日（火）
14:00～16:00
場 所：Gライオンアリーナ

5 事業推進委員会

日 時：令和7年12月9日（火）
17:00～19:00
場 所：神戸元町「梅の花」

6 新春会員交流会

日 時：令和8年1月8日（木）
17:00～19:00
場 所：神戸三宮東急 REI ホテル

事務局	：	吉本義幸、石井滝実子
電 話	：	078-996-2851
FAX	：	078-996-2852
Email	：	archit-k@axel.ocn.ne.jp

安心をカタチに **兵庫県住宅再建 共済制度** **フェニックス共済**



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した
住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ！**

県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に		県内の住宅（借家含む）にお住まいの方に
住宅再建共済 年額5,000円で 再建、補修時等に 最大600万円 給付! ※半壊（損害割合 20%）以上		家財再建共済 単独加入 年額1,500円で 住宅とセット 年額1,000円で 加入の場合 購入・修復時に 最大 50万円 給付! ※床上浸水・半壊以上
一部損壊特約 年額500円で 補修時等に 25万円 給付! ※損害割合10%以上20%未満		

※ 住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「リ災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 検索 *加入申込書はダウンロードできます*



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局（簡易郵便局除く）にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です！